

ゴムホース類の劣化点検に関する注意事項

■ ゴムホース類の劣化点検に関する注意事項について

定期点検時のゴムホース類の損傷・劣化点検に関する注意点をお知らせいたしますので、適切な点検、処置を実施いただきますようお願いいたします。

■ 定期点検徹底のお願い

燃料系、冷却系、ブレーキ系、潤滑系などに使用しているゴムや樹脂のホースが損傷、あるいは経年劣化などで亀裂が発生し、オイル・液漏れが発生すると、思わぬ事故、火災の要因となります。定期点検時は、滲みなどの予兆にも注意し、点検、処置の徹底をお願いいたします。



■ 点検方法

損傷、亀裂、膨れ、漏れ、油分付着、油脂類の飛散を目視点検する。また、劣化したホースから黒いカーボンが析出している場合があり、手袋（軍手など）に黒いカーボンが付くかを確認点検する。

■ 処置

ホースの膨れ、滲みを含め異常が認められたものは新品に交換する。

おことわり

メンテナンスにおいて、UDトラックスが指定する整備条件やメンテナンスノートに記載の点検整備を怠ったために生じた故障・事故については、保証の対象になりませんのでご注意ください。